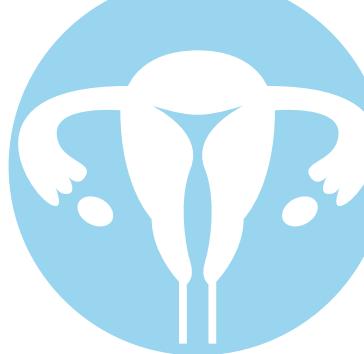


【ヒト・パピローマウイルス検査】(HPV)



以下の方は **検査対象外** となります

妊娠中の方

現在婦人科でなんらかの治療を受けている方

子宮を完全に摘出している方

生理中の方

精度の高い検査を行うために、終了後1週間経過後に採取してください。

ご不明な点などございましたら下記までご連絡ください(平日9:00~17:15)

TEL:0120-82-1213 (H.U. POCKeT株式会社)



検査ってどんなことをするの?



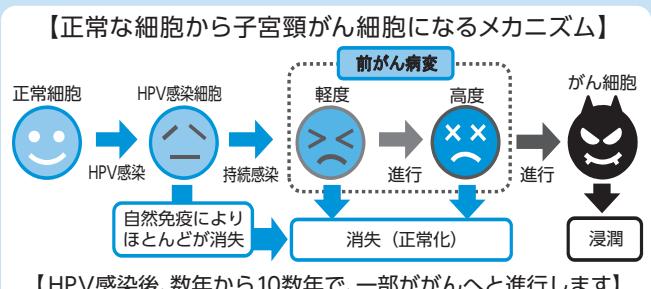
子宮頸部入口付近の細胞が、ヒト・パピローマウイルスに感染していないか検査します。

ヒト・パピローマウイルスの中には100種類以上の型が存在します。その中でも子宮頸がんへの進展度が高いとされている、ハイリスク型の16型と18型の同定、およびその他12種類のハイリスク型を一括して検出します。

※その他12種類のハイリスク型(31,33,35,39,45,51,52,56,58,59,66,68型)は、型個別の判定はできません。

子宮頸がんはヒト・パピローマウイルス(HPV)の持続感染が原因とされています。

ヒト・パピローマウイルスの感染の多くは性交渉によるもので、誰でも感染の可能性がある、ごくありふれたウイルスです。ただし、感染しているからといって、必ず子宮頸がんになるわけではありません。感染してもほとんどの場合、免疫の働きによりウイルスは排除されます。しかし、感染してから何年も排除できず持続感染してしまうと、前がん病変(異形成)細胞となり、がん細胞へと進んでいきます。



検査って大切なんですね!



詳しい検査内容は次のとおりです。

[基準値] 陰性

[検査方法] HPV-DNA検査

[検体] 膜内細胞

[必要日数] 約3週間 再検査になった場合や休日を含む場合、必要日数よりかかる場合があります

[保存] 室温

[郵送方法] 郵便、受付票と検体を同封してください

※受付票には、住所、氏名、電話番号、生年月日、年齢、性別、アンケートにお答えください。

検査は株式会社ジェネティックラボが行います。

